

◆ 荻野 多賀子 (おぎの たかこ / 1965.2.20~)

＜実業家 / ニュージーランド (以下 NZ) での温泉宿経営、ドローン活用事業＞

昭和58(1983)年3月高田商業高校卒業。自宅は妙高高原町(現妙高市)赤倉で、毎朝バスで田口(現妙高高原)駅まで出て、そのあと列車で高田(南高田駅)まで通学。

卒業後は実家が宿泊業を営んでいたもので、父の勧めもあり観光・接客・宿運営に関する勉強をするために、東京 YMCA 国際ホテル専門学校に進学。

2年間の東京生活を終えて帰郷。実家の「有秀山」に入り6年間、フロント・売店・バー等のホテル運営に夢中で従事し、事業内容修得。



＜時代背景＞昭和62(1987)年秋、映画「私をスキーに連れてって」(主演:原田知世 / 志賀高原)が公開され、バブル経済の波にも乗って空前のスキーブームとなり、ピーク時の平成3(1991)年には、約400万人のスキーヤーが来町した。



赤倉を含む妙高高原の各スキー場はどこも都会からやって来るスキーヤーで溢れ、宿泊施設も満員盛況。秀山では別館(支店)を開業し、主にそちらを任されて若くして貴重な経験を得た。当時慢性的に人手不足で、外国人就労者や学生アルバイトも多く活躍してもらったけれど、学生達は2月になると大学に戻らなければならないという事で、人手のやりくりで苦労したことが印象に残っているとのこと。

★ NZ渡航 / 日本式温泉宿経営 (24年間)

平成2(1990)年、父の政雄さんがNZに旅行。南島の大都市クライストチャーチから遠く離れた(190 km)、ブナの原生林に囲まれた自然豊かなマルイアという地を訪れ、そこで豊富な湯量と高温・良質な温泉が湧き出る環境に一目惚れ。マルイアとは、マオリ語で「山深い谷」という意味。

そこにあった古い温泉施設が売りに出ていることを知り、即購入を決意(翌年2月買収)。

翌年、自身も末弟と共にNZに渡り、現地を視察。特に弟が現地を気に入り、父に代わって経営する手筈となったが、平成4年に長男(跡取り)が交通事故で突然の他界。弟は長男に代わり、跡を継ぐため赤倉に戻ることになり、自身がそのまま現地に残り、後を引き継ぐ形で平成6(1994)年に責任者(社長)になることとなった。



👉 昔からのマルイア: 写真をクリック ↑

以降平成27(2015)年までの24年間、マルイアでの日本式温泉宿を経営。以下は、時系列に記した女将としての折々の活動・状況・感想。

なお、会話に必要な英語は最初から話せたのではなく、現地での生活の中で必要に迫られて修得していった。

◎ 平成3(1991)年4月～……日本式宿に改築

- ・現地建築職人が日本式に不慣れの為、ミスの連続
 - ・野天風呂は浅過ぎ・水漏れ等不具合でやり直し
- } 工事遅延・予算超過



◎ 平成3(1991)年9月……工事完工・営業開始(現地スタッフ訓練)

- ・知名度向上のため、空港・旅行会社・観光施設等にパンフ配布&PR(ビラ配り)
- ・接客は日本式おもてなしを重視。当初スタッフ教育で困難直面
- ・食事は和食をベースに、現地の人々に合わせてアレンジ
- ・食器も銘々皿・箸を基本とし、日本酒を徳利で提供
- ・客室も日本式(簡素・清潔・快適/寝具は基本的にベッド)
- ・入浴の仕方は、日本式も提唱(内風呂は原則裸、露天は水着着用)

< 苦労・喜び・評価 >

- * 現地は自然保護区で、現状変更(人工物設置等)不可のため気を使うこと多し
 - ・トイレ・台所等の雑排水は浄化(4つの浄化槽)して川に、電気は水力自家発電
 - ・水力発電用の取水場の定期的清掃必要(人力での取水口清掃)
 - ・高温の源泉(60℃)を水で薄めること不可のため、湯量の増減で調整(39~40℃)
- * 和のテイストの館内、日本式の食事・入浴・客室の提供&反応
 - ・当初従業員(現地買収契約で継続雇用)の日本式サービスに無理解・非協力(大苦戦)
 - ・複数の総菜(銘々皿)の提供、箸を使う
 - ・複数の人が一つの鍋を囲んで共有する鍋料理(一番人気)
 - ・細かで丁寧な接客サービス(おもてなし=好評)
 - ・源泉かけ流しで混り気のない泉質維持(大好評)
 - ・入浴は日本では裸で、男女別の浴槽に入る(驚き=抵抗→挑戦)
 - ・入浴時のマナー(最初にシャワー・洗濯不可等)
 - ・打たせ湯の新しい入浴方法/効能の紹介(大好評=週末は行列)
 - ・温泉に入浴&宿泊する旅行形式(新しいスタイル=好評)
 - ・女将に逢いに来てくれるリピーターもいる(やり甲斐、報われる喜び)





1991.9 落成式



両親



露天風呂



打たせ湯



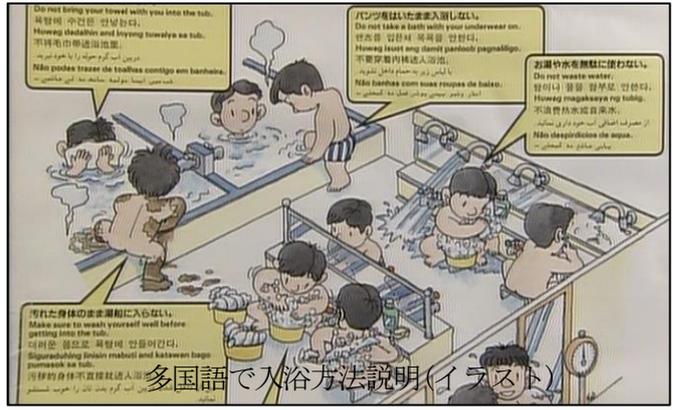
鍋／一番人気



和のおもてなし



大浴場(内湯)



多国語で入浴方法説明(イラスト)



大浴場(脱衣所)



大浴場(浴槽)



客室(スタンダード)



◎ 平成12(2000)年……ツアー部門開始／サービスの拡充等

- ・料理バリエーションの拡充、和朝食の提供、浴衣(ゆかた)の推奨
- ・客室に手作りウエルカム折り鶴
- ・バイクツーリング客のツアー企画・誘客
- ・ヘリコプターの操縦免許取得、天空のウェディング(ヘリで式場へ)
- ・希望する客を乗せて、マルイア周辺の大自然を空からヘリ遊覧飛行
- ・2010年、地元クライストチャーチの新聞 Press Paper とのコラボ広告6組様ご招待に7,000組の応募があった
- ・2012年、首都ウェリントンで開催された各国の大使が集まるチャリティーパーティーからの依頼で、マルイアスプリングスのパッケージ宿泊券を賞品として提供した
- ・2014年、地元ブラー市より「市民栄誉賞」を授与された



マルイア スプリングス全景

◎ 様々な困難に対応

- ・従業員教育…… 買収時の従業員を継続雇用(契約条件)、日本式サービス理解困難
- ・湯温調整…… 源泉は60℃の高温で、適温(39~40℃)に調整(水で調整不可)
- ・自然災害…… 大雨により渡り廊下流失、大雪(2008年)による引湯パイプ損壊
- ・電源確保…… 水源地の土砂・落ち葉等の定期的除去・清掃作業(人力)



2008年大雪



引湯パイプ落下



取水口の清掃

◎ 温泉女将の Activities…… 生来の乗り物好き

- ・4輪自動車…… 昭和58(1983)年、免許取得(日本)
- ・二種免許…… 平成5(1993)年、免許取得(NZ)、個人客観光案内
- ・大型バス免許…… 平成5(1993)年、免許取得(NZ)、団体客観光案内
- ・ヘリコプター…… 平成10(1998)年、免許取得(NZ) – 業務合間での勉強・訓練/要2年–
- ・大型バイク…… 平成12(2000)年、大型免許取得(NZ)、1400cc バイク乗車
- ・建設機械…… 建設機械(ユンボ)操縦 – 自社敷地内操縦の為免許不要–



観光バス運行



毎週保冷車で資材仕入れ



遊覧飛行



バイクツアーの際、8mのトレーラーを引いて追従

★ 温泉施設売却、ブレナム市に移住(7年間居住)

平成27(2015)年、24年間守り育ててきた日本式温泉宿を売却。施設全体に老朽化が目立ってきたこともあり、愛惜の決断。

NZ南島北東部に位置し、ワイン産地でもあるブレナム市に移住。本格和食のレストランでもやろうと思ったが、知人の勧めでヘリコプター・ドローンを使った不動産や農場等の空撮を担う「Airborne Capture」社を設立・経営。



令和4(2022)年まで、マルイア温泉時代の相棒で夫となる松下晃さんと、NZでの更なる7年を過ごした。

◎ Airborne Capture 社の主な業務



❖ 動画・静止画の空撮

対象:不動産、農場、会社プロモーションビデオ制作 等

[click here](#) ↑ (YouTube)

❖ 赤外線による熱源の空撮

対象:ワイン畑、ソーラーパネル、ヒート箇所の検出 等

❖ ドローン空撮性能 (UAV: Unmanned Air (Aerial) Vehicle / 無人機)

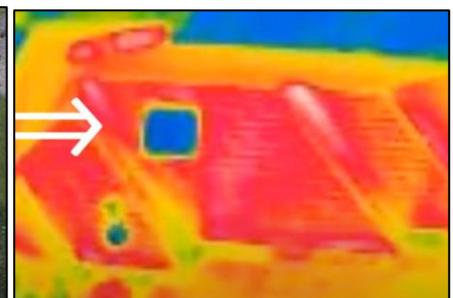
最大高度: 121m (400ft)、最大耐風速: 10m/sec (20kts)



不動産空撮



ソーラーパネルを搭載した屋根



ソーラーパネル/赤外線空撮



ワイン畑空撮



赤外線搭載ドローン



最新式固定翼 UAV / 仏製



ファミリー活動の空撮記録



ヘリコプター操縦 / 松下晃

★ 日本に帰国

令和4(2022)年6月、前年冬の記録的な豪雪により、気丈なはずの母からの悲鳴に近い帰国要請を受け、判断に悩みながらも晃さんの「親孝行をしよう！」との言葉に従い、高齢な両親の面倒を見るために帰国。

最愛の夫・愛犬たちと共に、働き詰めだった両親に感謝・恩返し of 素敵な余生をプレゼントできればとのことで、約30年振りの帰国となった。

◎ 現在赤倉で以下の事業を計画

- ❖ Holiday House Myoko…… 観光客への民泊斡旋・提供
- ❖ Airborne Capture…… ドローンやウォークスルービデオによる不動産撮影事業
- ❖ [Swap & Meet in Myoko](#)…… 企画運営事務局(クラシックカーが集い交流する場の提供)

クラシックカーを愛する夫 晃さんの夢は、赤倉にクラシックカー愛好家が集まれる場所と機会を提供し、愛好家同士の交流はもとより、温泉宿泊や相対でクラシックカーの交換・売買(フリマのクラシックカー版)もできる自由闊達なイベント空間を企画・運営する事とのこと。冬だけでなく通年観光振興が妙高の長年の課題。自然豊かな妙高を、クラシックカーのメッカにできれば、また一つ素敵な魅力が加わることになる。

全国各地で、愛好家が集うクラシックカーイベントが開かれている。以下、新潟県内で開催されている主なイベント。

- ・クラシックカーフェスタ in あがまち(阿賀町)
- ・クラシックカーミーティング in 糸魚川(糸魚川市)
- ・20世紀ミーティング(三条市)
- ・ノスタルジックカーフェスタGOSEN(五泉市)
- ・モトコンカーニバル in 柿崎(上越市)
- ・はねうまクラシックカーレビュー(妙高市)



愛車(50年式オースチンA30)と共に



2023.11 錦秋の妙高山を望む親孝行ツーリング (拡大&他の写真表示は上をクリック ↑)

★ アラカルト／NZ在住余話

◎ 恩師に再会／武田先生

平成17(2005)年1月4日、高田商業高校時代の担任、武田至功先生がNZまで様子を見に来島。元気な様子で仕事をしている姿を確認されて、安心していただいた。

日本から遥々片道12時間のフライト。そして1週間のNZ国内旅。本当に感謝しています。



担任の武田先生／前列（クリック ↑）

◎ マスコミ取材27回／マルイア温泉(24年間)

<主なテレビ取材>

★テレビ東京／～日曜ビッグバラエティー～

平成 14(2002)年〇月〇日・・・「ニュージーランド温泉女将奮闘記」

★NHK／～遠くにありてにつぼん人～

平成 16(2004)年4月4日・・・「おもてなしは秘湯で～ニュージーランド・荻野多賀子～」

★フジテレビ／～新報道 2001～

平成 27(2015)年5月 10 日・・・「ニュージーランドに“和の温泉宿”パワフル女将奮闘記」



テレビ東京



NHK



フジテレビ

<YouTube>

★ニュージーランド航空機内ビデオ(3.53s) <http://youtu.be/Z4WTsmXHdmc>

★米国テレビ番組(6.07s) <http://youtu.be/dumqKxTTs3o>

<機内誌取材>

★日本航空・・・Agora : JAL グループ機内誌

平成 14(2002)年 10 月・・・「Cosmopolitans われら地球人(117)」

機内誌表示(PDF)はココ 



◎ 現在のマルイア温泉／参考

★ MARUIA HOT SPRINGS(要翻訳) <https://www.maruiahotsprings.nz/>

◎ 高商生の皆さんへ(メッセージ)

幼少の頃は文字通り「箱入り娘」のシャイで何もできない子供(母の言)だった私が、必要に迫られたとはいえ、NZで31年間も頑張ってきたことは自分でも驚いています。

高商時代で学んだ商業専門科目の勉強がNZで大変役に立ちました。経理担当者と同じ目線で相談・指示を出すことが出来、民営温泉宿として相応の利益を出すことが出来ました。月並みな言葉ですが、「継続は力なり」という言葉を改めて噛み締めています。文字通り苦／楽の繰返しのNZ生活でしたが、ぶれずに信念を継続することで、スタッフ一丸となることが出来、お客様の為の良い仕事に繋がったと思っています。

少子高齢化の日本にあって未来は決して甘くはないと思いますが、どうぞ信念を持って目標に向かって邁進して下さい。心より応援し、そして母校の発展をお祈りいたします。